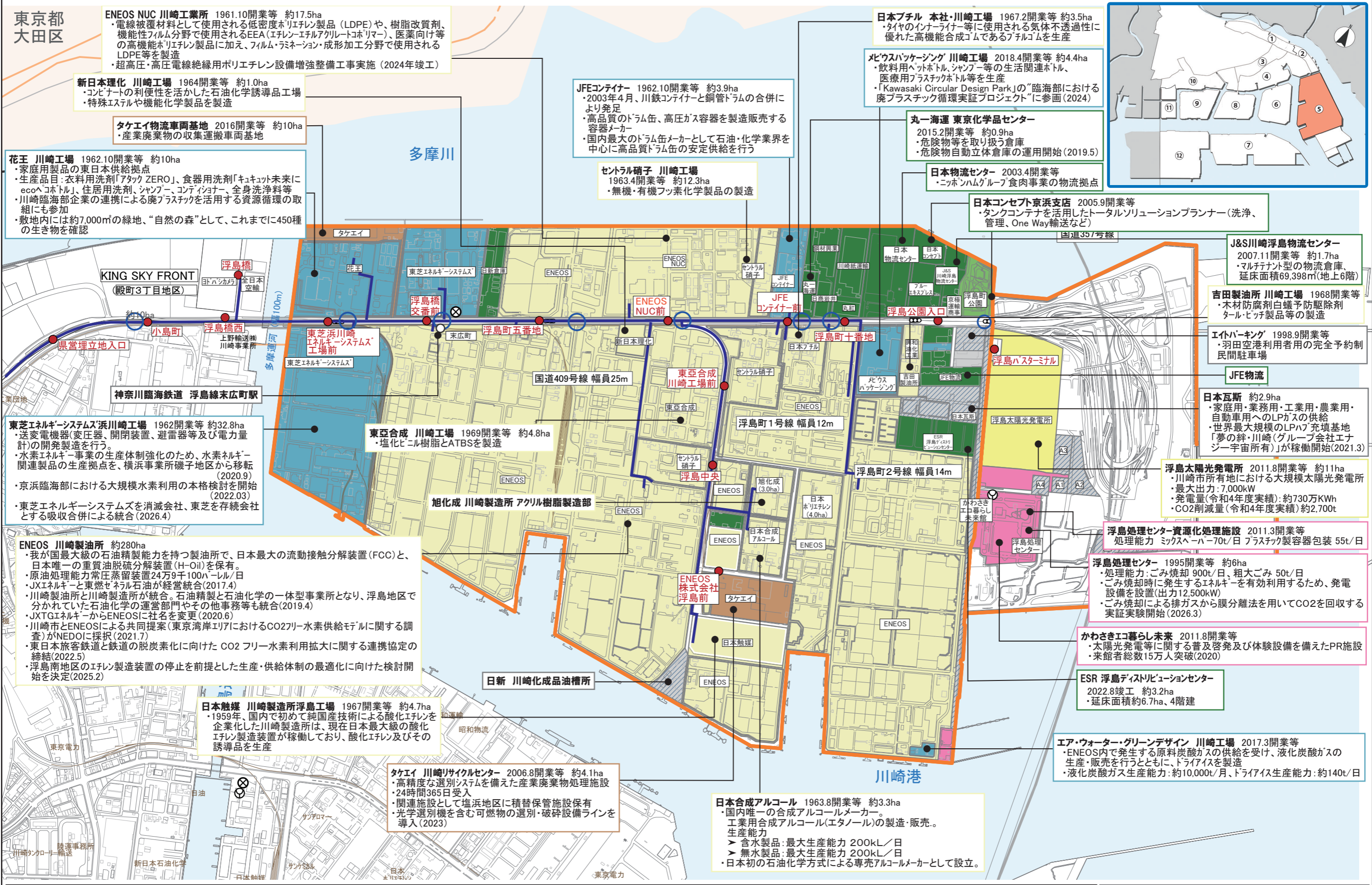


凡例

対象地区範囲	バス停	警察署	製造 (石油・石油化学)	公共用地	その他
鉄道駅	消防署	製造 (石油・石油化学以外)	物流	公園等	
工業用水道		リサイクル	エネルギー	研究開発	

浮島町地区・浮島地先地区

5



**東京都大田区**

**ENEOS NUC 川崎工場** 1961.10開業等 約17.5ha  
 ・電線被覆材料として使用される低密度ポリエチレン製品 (LDPE) や、樹脂改質剤、機能性フィルム分野で使用されるEEA (エチレン-エチルアクリレートコポリマー)、医薬向け等の高機能ポリエチレン製品に加え、フィルム・ラミネーション・成形加工分野で使用されるLDPE等を製造  
 ・超高压・高压電線絶縁用ポリエチレン設備増強整備工事実施 (2024年竣工)

**新日本理化学工業 川崎工場** 1964開業等 約1.0ha  
 ・コンビナートの利便性を活かした石油化学誘導品工場  
 ・特殊エステルや機能化学製品を製造

**タケイ物流車両基地** 2016開業等 約10ha  
 ・産業廃棄物の収集運搬車両基地

**花王 川崎工場** 1962.10開業等 約10ha  
 ・家庭用製品の東日本供給拠点  
 ・生産品目: 衣料用洗剤「アタック ZERO」、食器用洗剤「キュキュット未来にecoペコボトル」、住居用洗剤、シャンプー、コンディショナー、全身洗浄料等  
 ・川崎臨海部企業との連携による廃プラスチックを活用する資源循環の取組にも参加  
 ・敷地内には約7,000㎡の緑地、「自然の森」として、これまでに450種の生き物を確認

**東芝エネルギーシステムズ 浜川崎工場** 1962開業等 約32.8ha  
 ・送変電機器 (変圧器、開閉装置、避雷器等) 及び電力量計の開発製造を行う。  
 ・水素エネルギー事業の生産体制強化のため、水素エネルギー関連製品の生産拠点を、横浜事業所磯子地区から移転 (2020.9)  
 ・京浜臨海部における大規模水素利用の本格検討を開始 (2022.03)  
 ・東芝エネルギーシステムズを消滅会社、東芝を存続会社とする吸収合併による統合 (2026.4)

**ENEOS 川崎製油所** 約280ha  
 ・我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置 (FCC) と、日本唯一の重質油脱硫分解装置 (H-Oil) を保有。  
 ・原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100バレル/日  
 ・JXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合 (2017.4)  
 ・川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合 (2019.4)  
 ・JXTGエネルギーからENEOSに社名を変更 (2020.6)  
 ・川崎市とENEOSによる共同提案 (東京湾岸エリアにおけるCO2フリー水素供給モデルに関する調査) がNEDOに採択 (2021.7)  
 ・東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結 (2022.5)  
 ・浮島南地区のエチレン製造装置の停止を前提とした生産・供給体制の最適化に向けた検討開始を決定 (2025.2)

**ENEOS 川崎製油所** 約280ha  
 ・我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置 (FCC) と、日本唯一の重質油脱硫分解装置 (H-Oil) を保有。  
 ・原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100バレル/日  
 ・JXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合 (2017.4)  
 ・川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合 (2019.4)  
 ・JXTGエネルギーからENEOSに社名を変更 (2020.6)  
 ・川崎市とENEOSによる共同提案 (東京湾岸エリアにおけるCO2フリー水素供給モデルに関する調査) がNEDOに採択 (2021.7)  
 ・東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結 (2022.5)  
 ・浮島南地区のエチレン製造装置の停止を前提とした生産・供給体制の最適化に向けた検討開始を決定 (2025.2)

**日本触媒 川崎製造所浮島工場** 1967開業等 約4.7ha  
 ・1959年、国内で初めて純国産技術による酸化エチレンを企業化した川崎製造所は、現在日本最大級の酸化エチレン製造装置が稼働しており、酸化エチレン及びその誘導品を生産

**タケイ 川崎リサイクルセンター** 2006.8開業等 約4.1ha  
 ・高精度な選別システムを備えた産業廃棄物処理施設  
 ・24時間365日受入  
 ・関連施設として塩浜地区に積替保管施設保有  
 ・光学選別機を含む可燃物の選別・破碎設備ラインを導入 (2023)

**JFEコンテナ** 1962.10開業等 約3.9ha  
 ・2003年4月、川鉄コンテナと銅管ドラムの合併により発足  
 ・高品質のドラム缶、高压ガス容器を製造販売する容器メーカー  
 ・国内最大のドラム缶メーカーとして石油・化学業界を中心に高品質ドラム缶の安定供給を行う

**セントラル硝子 川崎工場** 1963.4開業等 約12.3ha  
 ・無機・有機フッ素化学製品の製造

**東亜合成 川崎工場** 1969開業等 約4.8ha  
 ・塩化ビニル樹脂とATBSを製造

**旭化成 川崎製造所 アクリル樹脂製造部**  
 ・アクリル樹脂の製造

**ENEOS 川崎製油所** 約280ha  
 ・我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置 (FCC) と、日本唯一の重質油脱硫分解装置 (H-Oil) を保有。  
 ・原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100バレル/日  
 ・JXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合 (2017.4)  
 ・川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合 (2019.4)  
 ・JXTGエネルギーからENEOSに社名を変更 (2020.6)  
 ・川崎市とENEOSによる共同提案 (東京湾岸エリアにおけるCO2フリー水素供給モデルに関する調査) がNEDOに採択 (2021.7)  
 ・東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結 (2022.5)  
 ・浮島南地区のエチレン製造装置の停止を前提とした生産・供給体制の最適化に向けた検討開始を決定 (2025.2)

**ENEOS 川崎製油所** 約280ha  
 ・我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置 (FCC) と、日本唯一の重質油脱硫分解装置 (H-Oil) を保有。  
 ・原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100バレル/日  
 ・JXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合 (2017.4)  
 ・川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合 (2019.4)  
 ・JXTGエネルギーからENEOSに社名を変更 (2020.6)  
 ・川崎市とENEOSによる共同提案 (東京湾岸エリアにおけるCO2フリー水素供給モデルに関する調査) がNEDOに採択 (2021.7)  
 ・東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結 (2022.5)  
 ・浮島南地区のエチレン製造装置の停止を前提とした生産・供給体制の最適化に向けた検討開始を決定 (2025.2)

**ENEOS 川崎製油所** 約280ha  
 ・我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置 (FCC) と、日本唯一の重質油脱硫分解装置 (H-Oil) を保有。  
 ・原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100バレル/日  
 ・JXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合 (2017.4)  
 ・川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合 (2019.4)  
 ・JXTGエネルギーからENEOSに社名を変更 (2020.6)  
 ・川崎市とENEOSによる共同提案 (東京湾岸エリアにおけるCO2フリー水素供給モデルに関する調査) がNEDOに採択 (2021.7)  
 ・東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結 (2022.5)  
 ・浮島南地区のエチレン製造装置の停止を前提とした生産・供給体制の最適化に向けた検討開始を決定 (2025.2)

**ENEOS 川崎製油所** 約280ha  
 ・我が国最大級の石油精製能力を持つ製油所で、日本最大の流動接触分解装置 (FCC) と、日本唯一の重質油脱硫分解装置 (H-Oil) を保有。  
 ・原油処理能力常圧蒸留装置24万9千100バレル/日  
 ・JXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合 (2017.4)  
 ・川崎製油所と川崎製造所が統合。石油精製と石油化学の一体型事業所となり、浮島地区で分かれていた石油化学の運営部門やその他事務等も統合 (2019.4)  
 ・JXTGエネルギーからENEOSに社名を変更 (2020.6)  
 ・川崎市とENEOSによる共同提案 (東京湾岸エリアにおけるCO2フリー水素供給モデルに関する調査) がNEDOに採択 (2021.7)  
 ・東日本旅客鉄道と鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大に関する連携協定の締結 (2022.5)  
 ・浮島南地区のエチレン製造装置の停止を前提とした生産・供給体制の最適化に向けた検討開始を決定 (2025.2)

**日本合成アルコール** 1963.8開業等 約3.3ha  
 ・国内唯一の合成アルコールメーカー。  
 ・工業用合成アルコール (エタノール) の製造・販売。  
 生産能力  
 > 含水製品: 最大生産能力 200kL/日  
 > 無水製品: 最大生産能力 200kL/日  
 ・日本初の石油化学方式による専売アルコールメーカーとして設立。

**日本ペチル 本社・川崎工場** 1967.2開業等 約3.5ha  
 ・タイヤのインナーライナー等に使用される気体不透過性に優れた高機能合成ゴムであるブチルゴムを生産

**メウスバックering 川崎工場** 2018.4開業等 約4.4ha  
 ・飲料用ペットボトル、シャンプー等の生活関連ボトル、医療用プラスチックボトル等を生産  
 ・「Kawasaki Circular Design Park」の臨海部における廃プラスチック循環実証プロジェクトに参画 (2024)

**丸一海運 東京化学品センター** 2015.2開業等 約0.9ha  
 ・危険物等を取り扱う倉庫  
 ・危険物自動立体倉庫の運用開始 (2019.5)

**日本物流センター** 2003.4開業等  
 ・ニッポンハムグループ 食肉事業の物流拠点

**日本コンセプト 京浜支店** 2005.9開業等  
 ・タンクコンテナを活用したトータルソリューションプランナー (洗浄、管理、One Way輸送など)

**J&S川崎浮島物流センター** 2007.11開業等 約1.7ha  
 ・マルチテナント型の物流倉庫、延床面積69,398㎡ (地上6階)

**吉田製油所 川崎工場** 1968開業等  
 ・木材防腐剤白蟻予防防除剤、ターレット製品等の製造

**エイトパーキング** 1998.9開業等  
 ・羽田空港利用者用の完全予約制民間駐車場

**JFE物流**  
 日本瓦斯 約2.9ha  
 ・家庭用・業務用・工業用・農業用・自動車用へのLPガスの供給  
 ・世界最大規模のLPハブ充填基地「夢の絆・川崎 (グループ会社エナジー宇宙所有)」が稼働開始 (2021.3)

**浮島太陽光発電所** 2011.8開業等 約11ha  
 ・川崎市所有地における大規模太陽光発電所  
 ・最大出力: 7,000kW  
 ・発電量 (令和4年度実績): 約730万kWh  
 ・CO2削減量 (令和4年度実績) 約2,700t